

やっぱり女子ラグビー日本代表選手はすごい！

「第3回女子ラグビー日本代表選手と遊ぼう！」が7月16日（祝）に島原復興アリーナ横グラウンドにて開催された。本年度は、藤崎朱里（ふじさき あかり）選手、山口真理恵（やまぐち まりえ）選手、大島千佳（おおしま ちか）選手の3名が島原にやってきた。参加者は去年を上回る約100名でした。

午前中は3名の選手がタグラグビーの講習会を行った。参加者全員がボールを持ったら前に走ることや、取ったタグを丁寧に返すことなど、タグラグビーの基本的なルールを教わりながら楽しくゲームに参加していた。

途中、日本代表選手からトライを取ろうとチャレンジゲームが組まれた。6年生を中心とした3チームが挑戦したが、いずれも全く歯が立たず1トライも取れずに終了。スピードとパスのテクニックに圧倒され、日本代表選手の運動能力の高さに子どもたちの目も輝いていた。

午後からは島原市内の高校ラグビー部選抜対福岡の明善高校との練習試合が組まれた。合同練習をしていなかった島原選抜チームだったが、福岡の強豪校に7対10と善戦し、関係者は大満足の様子。選手にとっても収穫多い試合となった。

その後に、あこがれの3名の日本代表選手を一目見ようと、福岡や長崎など各地から60名程の女子ラグビー選手が集い、ラグビークリニックが組まれた。女子高校生・女子中学生・女子小学生は7人制の試合で的確なアドバイスを受け、プレーの質をさらに高めていた。

島原ラグビー協会では、来年度も日本代表選手を呼んでこの大会を開催予定で、さらに多くの子どもたちの参加を呼びかけていた。